

舞臺芸術の世界

テイアギリフのロシアバレエと舞台デザイン

RUSSIAN DESIGN FOR

THEATER OPERA, AND DANCE

2007年6月9日(土)ー7月16日(月・祝)

京都国立近代美術館 (岡崎公園内)

休館日 毎週月曜日、ただし7月16日(月・祝)は開館
開館時間 午前9時30分ー午後5時(金曜日は午後8時まで、入館は閉館の30分前まで)

主催 京都国立近代美術館 毎日新聞社 後援 ロシア連邦大使館 協賛 株式会社千趣 株式会社リアル 株式会社A
協力 TV、ラジオ、インターネット、ルフトハンザ航空、ルフトハンザカーゴAG、京阪電鉄、企画協力 アイティン・プロジェクト
テレホンサービス(観覧会のご案内) 075-761-9900 ホームページ <http://www.nmuk.go.jp>
展示会のお問い合わせ 京都国立近代美術館 〒606-8344 京都市左京区岡崎門前寺町 電話: 075-761-4111

INTERNATIONAL MUSEUM OF MODERN ART, KNOTO
JANUARY - JUNE 16 MONDAY - 00 07



舞台芸術の世界

ディアギレフのロシアバレエと舞台デザイン

A World of Stage:
Russian Designs for Theater, Opera, and Dance

Ballet Russe

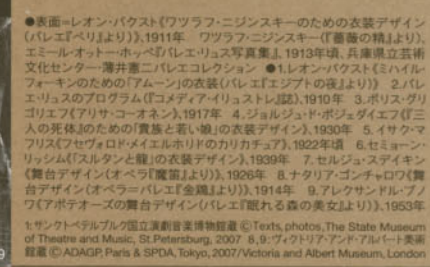


1909年5月18日、セルジュー・ディアギレフは20世紀舞台芸術の「歴史的な事件」として今日まで語り継がれているバレエリュス(ロシア・バレエ団)をパリのシャトレ劇場で旗揚げします。バレエリュスは1909-1929年までの20年間、パリを中心にヨーロッパとアメリカで60以上の新作を上演し、19世紀後半から衰退期にあったバレエを、音楽、美術、舞踊が一体化した最先鋭の総合芸術として再生しました。

バレエリュスの演目の多くはスラヴやオリエント、古代エジプトやギリシャなどを題材としたもので、西欧の人々にとっては辺境異文化の香りとエキゾチシズムに満ちたものでした。ニジンスキーやカルサヴィーナ、アンナ・パヴロワらの天才的舞踊家と振付師ミハイルフォーキン、リムスキー・コルサコフ、ムソルグスキー、ストラヴィンスキーら当時の前衛音楽家、舞台美術監督のレオン・バクストを中心とした前衛美術家たち、これら多方面の才能が集う総合芸術としてのバレエリュスは、ベル・エポックから狂乱の時代のヨーロッパ、アメリカの舞台上に大きな衝撃を与えたのです。美術においても、ロシア・アヴァンギャルドなどの前衛芸術やアル・デコ様式の源泉の一つとして、バレエリュスの影響は計り知れないものがあります。

バレエリュスについては1998年にセゾン美術館と滋賀県立近代美術館で優れた展覧会が開催されその概容と当時の西欧が受けた衝撃とが紹介されました。ある意味で私たちは、バレエリュスを西欧の眼を介して知ったのです。サンクトペテルブルク出身のアラ・ローゼンフェルド女史を監督者に迎えた今回の展覧会は、別の視点から読み直されたバレエリュス、すなわち、辺境ロシアの民族性と土着性を武器に、前衛の衝動と共に西方へと駆け抜けていったロシアの前衛芸術家集団「バレエリュス」への、ロシア側からの視点による展覧会と言うことができます。

本展は舞台の映像記録がほとんど残されていないバレエリュスを、絵画として高い完成度を持つレオン・バクストらによる舞台や衣装のための素描約100点、当時の舞台衣装10点、貴重な記録写真やプログラム、1985年にパリオペラ座がディアギレフを称えて再現した『薔薇の精』(1911)、『ペトルーシユカ』(1911)、『牧神の午後』(1912)の映像記録など全190点で構成され、伝説の総合芸術バレエリュスを可能な限り立体的に紹介します。



●表面=レオン・バクスト(ワツラフ・ニジンスキーのための衣装デザイン(バレエ『ペリ』より))、1911年。ワツラフ・ニジンスキー『薔薇の精』(より)、エミール・オットー・ホップのバレエリュス写真集、1913年頃、兵庫県立芸術文化センター海井豊二(バレエコレクション)。●1.レオン・バクスト(ミハイル・フォーキンのための「アムン」の衣装(バレエ『エジプトの夜』より))。2.「バレエリュスのプログラム(『コメディア・アイリッシュ』)」。1910年。3.ボリス・グリコリエフ(アリサ・ニコノワ、1917年。4.ジョルジュ・ド・ボジゲイアエフ(三人の死体のための「貴族と若い娘」の衣装デザイン)、1930年。5.イサカ・マリス(アセロ・ロドメエル・ホリワの「カリカチーフ」)、1922年頃。6.セシオン・リッシュ(「スルタンと龍」の衣装デザイン)、1939年。7.セルジュー・スタキーン(舞台デザイン(オペラ『魔窟』より))、1926年。8.ナタリヤ・ゴンチワロワ(舞台デザイン(オペラ『金鐘』より))、1914年。9.アレクサンドル・ブワ(アポテオースの舞台デザイン(バレエ『眠れる森の美女』より))、1953年。



●観覧料
一般…12500(10500)円、大学生…8000(6000)円、高校生…6000(4000)円
※(一)内は前売り及び20名以上の団体料金 ※中学生以下、心身に障害のある方と付添者1名は無料(入館の際に証明できるものをご提示ください)
※前売り券発売所はチケットぴあ・ファミリーマート(Pコード:687、375)、ローソンチケット(コード:55528)ほか主要プレイガイドなど

●関連企画
「講演会」―ロシア・アヴァンギャルドの美術と演劇―
講師…永田靖(大阪大学教授・演劇学者)
7月14日(土)午後1時30分-3時、京都国立近代美術館1階講演室
※聴講無料、定員100名、午前11時より受付にて整理券を発行いたします。
「ミュージアムコンサート」―鈴木謙一郎・ピアノ・コンサート―
フロコフエフ・ロマオとジュリエット・チャイフスキー「眠れる森の美女」ラートニョラ・ルビ
6月10日(日)午後2時-3時、1階ロビー、鑑賞無料、先着100席
「ダンスパフォーマンス」
6月23日(土)午後1時30分より、1階エントランスホール付近
*コンサートおよびダンスパフォーマンスの詳細はウェブサイトをご覧ください

【交通】
●JR近鉄京都駅前(A1のりば)から市バス⑤岩倉行
●JR近鉄京都駅前(D1のりば)から市バス⑩(急行)銀閣寺行、京都府立美術館前下車
●阪急丸の内河原町駅、京阪三条駅から市バス⑤岩倉行
●京都会館美術館前下車
●阪急丸の内河原町駅、京阪四條駅から市バス④平安神宮行、京都会館美術館前下車
●市バス他系統「東山二条」または「京都会館美術館前」下車徒歩約5分
●地下鉄東西線東山駅下車徒歩約5分
●お車でお越しの場合、岡崎公園駐車場(地下)をご利用の有料入館者は、駐車場の割引(1台1名)を受けられますので、駐車券をお持ちの上お越し下さい。

至出町柳
●丸太町駅
●平安神宮
●京都会館
●立近代美術館
●京都市美術館
●動物園
●至浜大津
●至六地藏
●至岡崎通
●至神宮道
●至東大路通
●至堂屋橋
●三条通
●御池通
●二条通
●冷泉通

